

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号		010101020800		事業の種類	4		
年度	23	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業	予算事業名	ファミリーサポートセンター事業	重要度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上 啓子	担当者名	破魔 和直
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		仕事と家庭両立支援特別援助事業の実施について(平成13年厚生労働省発雇児第319号)特別保育事業費等の国庫補助について(平成17年厚生労働省発雇児第0111001号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	子育て援助を行いたい方(提供会員)と受けたい方(依頼会員)					
	誰(何)を対象として	子育て援助を行いたい方(提供会員)と受けたい方(依頼会員)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内に住所を有する労働者等の仕事と育児の両立を支援するための環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行い、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上を図る。					
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		仕事と育児の両立を支援するための会員相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を実施する。				
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画
	会員数	人	778	719	646	660
	活動件数	件	686	646	414	700

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.073	0.073	100	0.077	105	0.063	82	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	808,010	808,137	100	923,299	114	818,810	89	
	事業費	3,006,891	3,032,647	101	3,016,150	99	3,823,000	127	
	合計	3,814,901	3,840,784	101	3,939,449	103	4,641,810	118	
財源内訳	国庫支出金	1,503,445	1,392,397	93	1,521,000	109	1,551,000	102	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,311,456	2,448,387	106	2,418,449	99	3,090,810	128	
合計	3,814,901	3,840,784	101	3,939,449	103	4,641,810	118		

## ※ 事業の進捗状況

項目		21年度	22年度	23年度	24年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		加入会員数							
指標説明(式)		依頼+提供+両方会員							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
人	目標	800	800	100.0	650	81.3	660	101.5	
	実績	778	719	92.4	646	89.8			
指標名2		活動件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1,100	1,000	90.9	650	65.0	700	107.7	
	実績	686	646	94.2	414	64.1			

【効率性】

指標名1		活動1件当たりコスト							
指標説明(式)		事業費／活動件数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	6,155	-	10,795	175.4	
	実績	5,838	6,236	106.8	9,516	152.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	仕事と育児を両立できる環境の整備及び地域子育て支援を行うことで労働者及び児童の福祉の増進を図る	4
	市民ニーズ	核家族化や地域社会の希薄化により、育児の支援を受け、仕事と育児を両立させて働くことを望む世代にとって必要である。	
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数、活動件数ともに減少のため、利用しやすい事業となるよう改善が必要である。	3
	市民サービス	利用者(依頼会員)のニーズに応じた提供会員を確保し、仕事と育児の両立支援のための相互援助活動の調整を行った	
効率性	コストの節減	活動件数の減少により、活動1件当たりのコストは増加した	3
	手段の最適性	アドバイザーによるセンターの育児に関する活動の調整、仕事の両立支援のためのニーズに応じた相互援助活動の調整が必要である	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	次世代育成支援後期行動計画による目標事業量は、ファミリー・サポート・センター1箇所の設置であり、目標は達成している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数、活動件数ともに減少しており、会員の確保や利用しやすい事業となるよう改善が必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	低所得者やひとり親家庭への利用料の1/2補助の実施と提供会員の質の向上を図るため、子育て学習センターと共同で子育て支援者講座を実施する。

配点	32.5
総合評価	25